

## METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

## 特集 教員採用試験準備が本格化

今年度は、教職課程を履修している29人の4年生(日本語学科15人、英米語学科11人、中国語学科3人)の内15人が、千葉県、東京都、福島県の教員採用試験を受験する予定です。千葉県と東京都の教員採用一次試験は7月11日に実施されるため、METTSでは教員採用試験対策指導を強化しています。4月6日から一次試験までに約100コマの特別講習を組み、METTSの教員が一丸となって教員志望の学生の夢を叶えるための指導をしています。

### 1 教職教養試験対策講座

教員採用試験では教職教養試験として、教育原理、学習指導要領、教育法規、教育時事、教育心理、教育史、各自治体が定めている教育施策といった分野から出題されます。METTSでは学生にビデオ講座を視聴させながら解説を加えたり、教員が作成した独自教材を使用して教職教養試験対策を進めています。学生からは、「METTSの先生方が解説する自治体別の出題の特徴に関して理解が深まり、自分が志望する自治体の教育施策をよく知ることが大切だと感じた」などの感想がありました。

### 2 専門教養試験対策講座

専門教養試験(国語、英語)では専門的な知識・技能が要求されます。本学では各学科の専門科目の学修を土台にして、METTS教員による学習指導要領の解説、教科指導法の演習、過去に出題された問題の解説などを通して、専門教養試験で合格点が取れる力の育成を図っています。学生からは「これまであいまいになっていた課題が見つかり、人に教える以上確実に知識・技能を修得しなければいけないと自覚した」などの声が聞かれました。

### 3 論文問題対策講座

東京都の教員採用試験では、与えられたテーマに基づいて教育問題について考えを述べる小論文が課されます。対策講座では、読み手に伝わる論の立て方や力強さが伝わる書き方などについて添削指導を繰り返し行うことで合格答案を書く力を身につけています。

### 4 面接試験対策講座

面接試験では、教員としての熱意、人間性、組織の一員として貢献できる力があるかどうかなどを様々な教育課題をテーマに質疑応答したり受験者同士で討論させたりすることで、教師としての資質を判断します。METTSでは、面接のモデルDVDを視聴した後、学生が自らの持ち味を面接官に伝えることができるよう模擬練習を繰り返し行って準備しています。



2021年度教職履修者数

	日	英	中
1年生	20	48	
2年生	18	29	1
3年生	17	16	2
4年生	15	11	3
学科計	70	104	6
合計	180人		

日：日本語学科

英：英米語学科

中：中国語学科

(2021年5月24日現在)

## 玉川大学小学校教員養成特別プログラム～剣持勉客員教授を迎えて～

「明海大学と玉川大学との間における小学校教員養成特別プログラムに関する協定」に基づき本プログラムを開始して4年目を迎えました。昨年度は、3人の学生が小学校教員免許を取得し、2人が採用されています。今年度は、さらに充実した学修内容とするために、教職課程センターに剣持勉客員教授を迎え、小学校における学級経営、板書の仕方、レポート作成等に関する指導をお願いしています。4月19日から英米語学科の4年生2人、3年生2人を対象にスタートしました。その後、採用試験に向かって7～8回の御指導をいただく予定です。4人の学生たちはとても熱心に授業に参加しており、「教育関係の専門用語の指導では学校現場に合わせて具体的に指導していただけるのでとても理解しやすい」（鶴沢美里さん）などの感想を述べています。

また、5月6日には、効果的な板書の技術についての講習会を教職課程の学生を対象に開催し、2年生から4年生の80人が出席しました。剣持先生からは、黒板に対しての立ち方、体の構え方、文字を美しくバランス良く見せるための留意点、といったことについてご指導いただきました。また、多くの学生が6人ずつ黒板に出て、自分の名前やさまざまな漢字に対するアドバイスをいただく機会をたくさん設けていただきました。教育実習を間近に控えた学生からは、「大学生になってからおざなりになっていた文字の止め、払いへの意識ができた。特に自分の名前は実習先の生徒たちに最初に見せる文字だと思うので大切にしたい」（五十嵐彩音さん）などの感想が寄せられました。



### 教育実習がスタート

5月10日から教育実習がスタートしました。今年度は29人の4年生（日本語学科15人、英米語学科11人、中国語学科3人）が約3週間の実習に臨みます。

教育実習ガイダンスを経て、実習前にPCR検査を受け、陰性であることの証明をもたせるなど万全のコロナ感染症対策をしています。

### ちば！教職たまごプロジェクト

公立学校教員を志望する大学生を対象に実践・体験の機会を提供し、教職への理解を深めるとともに、教員としての資質・能力の向上につなげる「ちば！教職たまごプロジェクト」に英米語学科4年生の鶴沢美里さん、江川有紗さん、嶋田宗晋さんが参加しています。週1回千葉県内の市立中学校や市立小学校に赴き、学習指導や学級経営などについて学んでいます。

### 日本語指導支援始まる

4月22日から、都立飛鳥高校、都立南葛飾高校に 응용言語学研究科の院生4人、日本語学科の学生23人及び中国語学科の学生1人が赴き、在京外国人生徒の日本語指導支援に当たっています。

都立飛鳥高校全日制は週1回、定時制は週3回、都立南葛飾高校は週2回実施しています。

### METTS アゴラが学修の拠点

METTS アゴラは、教職を目指す学生が集い共に切磋琢磨する学修空間として毎日多くの学生が訪れます。教員室がそばにあり、すぐに聞きたいことを質問することも強みです。授業時間以外の多くの時間をMETTS アゴラで過ごす日本語学科2年の三森英佟さんは、次のように語っています。

「私は朝早くからこの場所を活用することで予習や復習ができ授業への意識が高まりました。また、勉強に関することや進路に関することを友人や先輩、先生方に聞くことで様々な情報を入手できています」



### 学習支援ボランティア

外国語学部の学生15人（4年生2人、3年生2人、2年生11人）が、特定非営利活動法人ワークコープの主催する小学4年生から高校生を対象とする学習支援事業「ドラフトゼミ」の学習支援ボランティアとして参加しています。

#### アゴラ活用状況（人）

4月	704
2018年からの延べ数	34,013